

ダイハツ車のABS故障コード消去後の注意事項

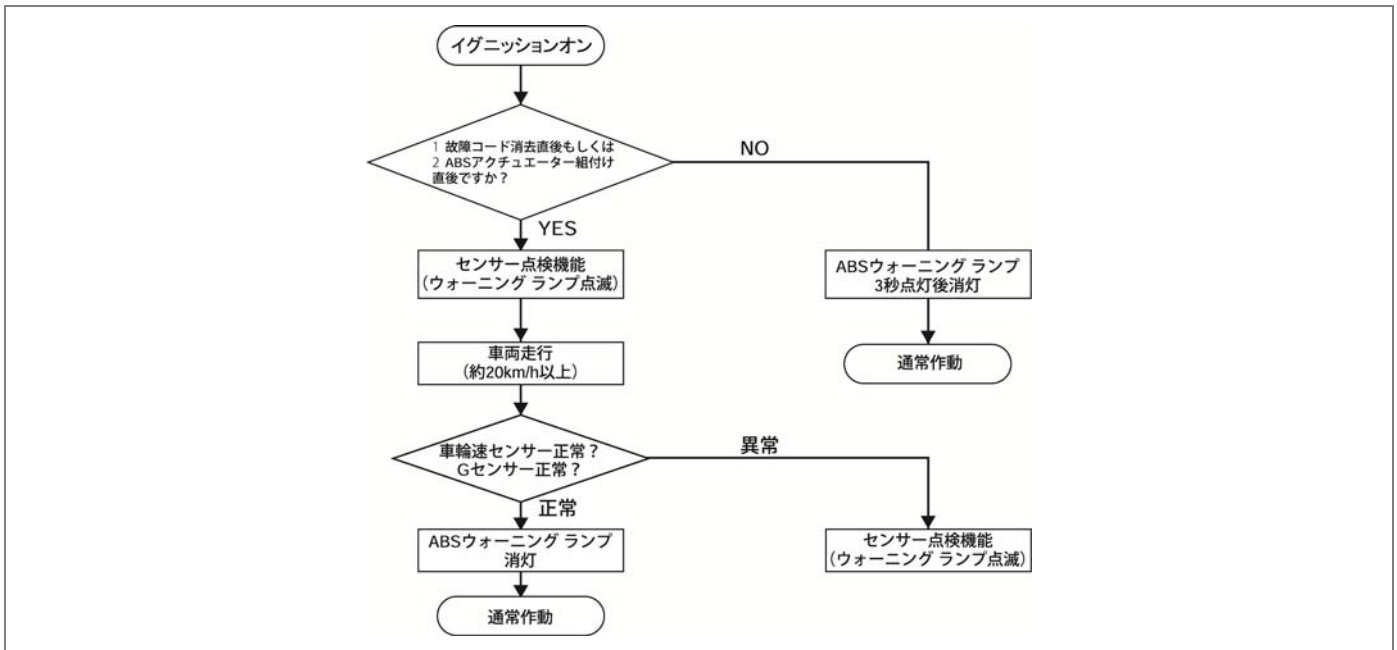
L900,L910,L902系のABSには、スピードセンサおよびGセンサ回路の断線、短絡だけではなく、センサの出力値を点検して良否を判定し、ABSウォーニングランプを点滅させて点検作業者に知らせる機能（テストモード）があります。


テストモードは、①故障コード消去直後、②新品のABSアクチュエータを取り付けてから初めてIGスイッチを「ON」にした時のいずれかの場合に実行されます。

テストモードになると、まずABSコンピュータは全ての点検コードを一旦記憶します。次に車両を時速20km/h以上で約2秒間以上走行させることにより各センサの点検を行って「異常なし」と判断された項目について先程記憶した点検コードを消去します。

点検結果が異常、もしくは点検条件を満たさずに点検を行えなかった場合は、ABSウォーニングランプが消灯しません。

テストモード実施要領



コード No.	点検項目	テストモードコード点検条件
71	前右 スピードセンサ 出力電圧異常	3~5km/h 以上で直進走行します。
72	前左 スピードセンサ 出力電圧異常	
73	後右 スピードセンサ 出力電圧異常	
74	後左 スピードセンサ 出力電圧異常	
75	前右 スピードセンサ 出力周期異常	約 20km/h 以上で直進走行します。
76	前左 スピードセンサ 出力周期異常	
77	後右 スピードセンサ 出力周期異常	
78	後左 スピードセンサ 出力周期異常	
79	G センサ 出力異常	通常の制動を行います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・スピードセンサシステムの点検は直進状態で行って下さい。 ・Gセンサの点検は4WD車のみです。 	

ダイハツ車の ABS/DVS 故障コード消去後の注意事項

DVSには、システム構成部品の故障や回路の断線、ショート等の不具合を検出する機能の他に各センサからの出力値を点検してセンサの良否を判定し、ABSウォーニングランプを点滅させて点検作業者に知らせたり、センサの初期設定を行うセンサ点検機能(テストモード)があります。

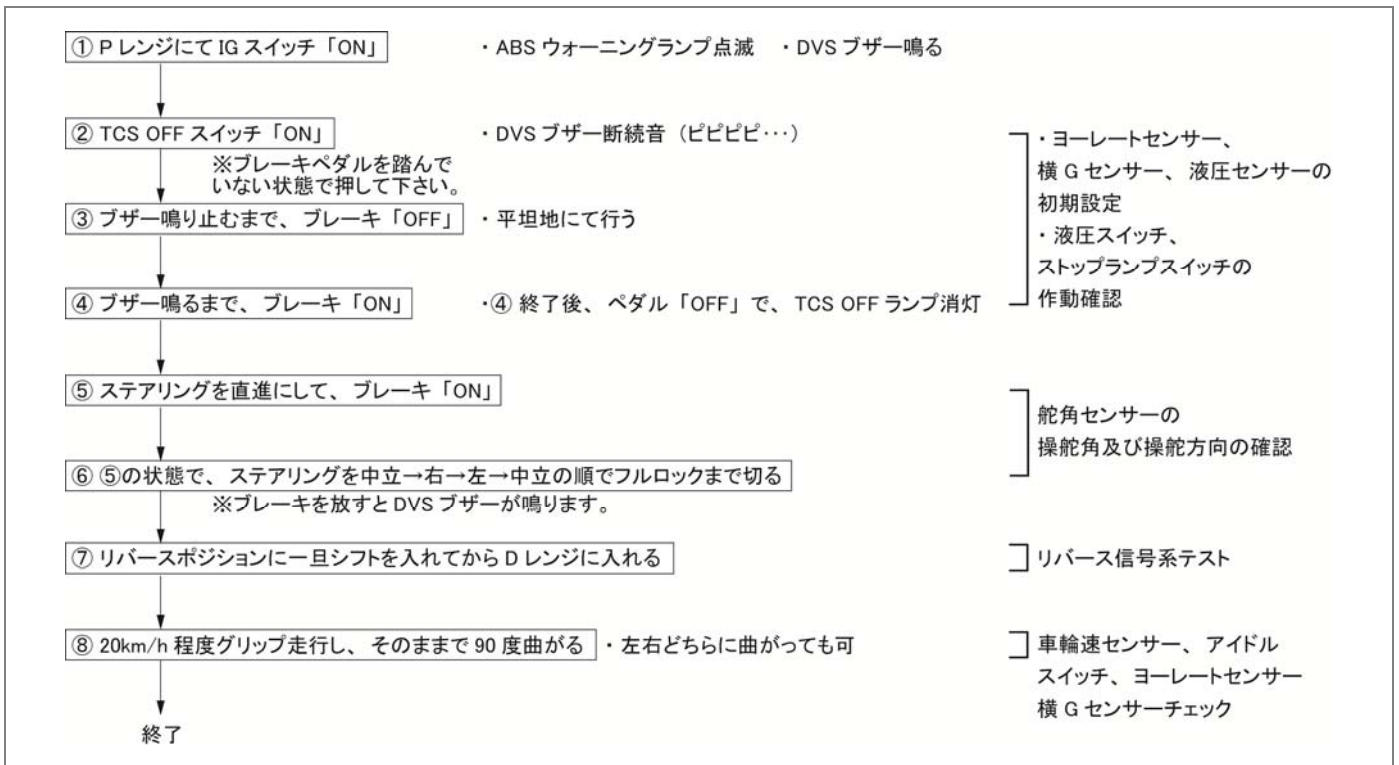
テストモードは、①故障コード消去直後、②新品のDVSコンピュータを取り付けてから初めてIGスイッチを「ON」にした時のいずれかの場合に実行されます。

テストモードに入ると、まずDVSコンピュータは全ての点検コードを記憶します。センサの出力値を点検する場合はこの後決められたパターンで車両を操作、走行させることによってセンサの初期設定および点検を行います。

DVSコンピュータは車両が走行することで「異常無し」と判断した点検コードについては記憶から消去していきます。このようにして全ての点検コードが記憶から消去されるとABSウォーニングランプを消灯させます。

点検結果が異常、あるいは決められた走行、操作をせずにセンサの点検が出来ない場合は、ABSウォーニングランプは消灯しません。

テストモード実施要領



コード No.	点検項目
81	車輪速センサ 前右 出力異常またはチェック未完了
82	車輪速センサ 前左 出力異常またはチェック未完了
83	車輪速センサ 後右 出力異常またはチェック未完了
84	車輪速センサ 後左 出力異常またはチェック未完了
92	横 G センサ 出力異常またはチェック未完了
93	ヨーレート センサ 出力異常またはチェック未完了
94	舵角センサ 出力異常またはチェック未完了
95	ストップランプスイッチ、液圧スイッチ、液圧センサーのいずれかが出力異常またはチェック未完了
96	リバース信号出力異常またはチェック未完了
97	アイドル スイッチ信号出力異常またはチェック未完了
98	エンジン回転信号出力異常またはチェック未完了